



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.7

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鶴見区鶴見中央4丁目計画 新築工事	階数	地上11F
建設地	横浜市鶴見区鶴見中央4丁目25番3	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	180 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2022年2月1日
敷地面積	511 m ²	作成者	株式会社 DAN総合設計 土方 碩哉
建築面積	272 m ²	確認日	2022年2月1日
延床面積	2,504 m ²	確認者	株式会社 DAN総合設計 土方 碩哉

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
総合	都市型ペンシルコンパクトマンションをコンセプトとしている。	0
Q1 室内環境	専有部分について、断熱等性能等級4とし、高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に務めている。	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数12.3%とし、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。
Q2 サービス性能	標準的な配慮を行っている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率94%としている。
LR1 エネルギー	断熱等性能等級4、BEI=0.88としている。	
LR2 資源・マテリアル	LGS下地やリサイクル材を積極的に採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



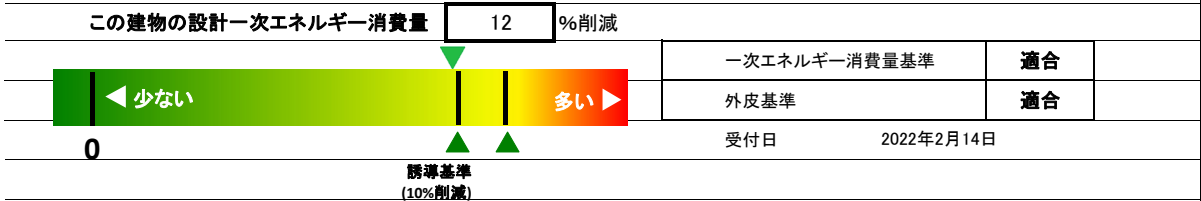
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)鶴見区鶴見中央4丁目計画 新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱等性能等級4

③BEI=0.88

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 3

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰機械・配管支持方法:耐震クラスA

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	

CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 3-126



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)鶴見区鶴見中央4丁目計画 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							2.6
Q1 室内環境				0.40			3.6
1 音環境			4.0	0.15	3.3	1.00	3.4
1.1 騒音			3.0	0.50	3.0	0.50	-
1.2 遮音			5.0	0.50	3.6	0.50	-
1 開口部遮音性能			5.0	1.00	5.0	0.30	-
2 界壁遮音性能			-	-	3.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音			-	-	-	-	-
2 温熱環境			2.6	0.35	4.0	1.00	3.6
2.1 室温制御			3.0	0.50	4.0	1.00	-
1 室温		快適・働きやすさ	3.0	0.63	-	-	-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	3.0	0.38	4.0	1.00	-
3 ソーン別制御性			-	-	-	-	-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	1.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	3.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境			2.3	0.25	4.0	1.00	3.6
3.1 昼光利用			1.8	0.30	4.0	0.50	-
1 昼光率		快適・働きやすさ	1.0	0.60	5.0	0.50	-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	-	-	3.0	0.30	-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	3.0	0.40	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策			2.0	0.30	4.0	0.50	-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	2.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度		快適・働きやすさ	3.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	3.0	0.25	-	-	-
4 空気質環境			3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策			4.0	0.60	4.0	0.63	-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気			3.0	0.40	3.0	0.38	-
1 換気量		快適・働きやすさ	3.0	0.50	3.0	0.33	-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	-	-	3.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理			-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	-	-	-	-	-



スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
				Q2 サービス性能				-	0.30	-
1 機能性				2.4	0.40	3.8	1.00	3.4		
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	-		
1	広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-		
2	高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	5.0	1.00	-		
3	バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	-		
1	広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50	-		
2	リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-		
3	内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-		
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-		
1	維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-		
2	維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0		
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-		
1	耐震性	防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-		
2	免震・制振性能	防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.9	0.30	-	-	-		
1	躯体材料の耐用年数	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-		
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-	-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-		
6	主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-		
2.4 信頼性				3.2	0.20	-	-	-		
1	空調・換気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
2	給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
3	電気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
4	機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性	4.0	0.20	-	-	-		
5	通信・情報設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.3	1.00	2.4		
3.1 空間のゆとり				-	-	1.6	0.50	-		
1	階高のゆとり			-	-	2.0	0.60	-		
2	空間の形状・自由さ			-	-	1.0	0.40	-		
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	-		
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	-		
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-		
2	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	-		
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-		
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-		
5	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-		
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-		



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)鶴見区鶴見中央4丁目計画 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑩地域性への配慮		1.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑩敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		4.4	0.50	-	-	4.4
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.3	0.20	-	-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				5.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				5.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-
2 振動				-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目					-	-	-	-
<事務用途>					-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
<住宅用途>					-	-	-	-
健康と安心					-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		1.0	-	-	-	-